

みどりの杜俳句会

友逝きて眠れぬ夜の梅雨かな

山青葉窓辺椅子寄せ語り合ふ

今村千鶴子

佐山けさ子

山法師白さ際立ち屋根おおふ

つる草ののびる様見て人間の弱さを思うコロナ禍長し

駐在所前立ち葵ならびあり

野口利江子

渡邊美枝子

田村 好子

山百合の墓の囲りにふえてをり

時々は故郷を思ふ日もあらむ

ベランダの巢に子燕や声元気

落合 七郎

真紅の小粒のハイペリカムは

本本 弘子

山百合のたるみ支柱を立てにけり

坂本 美江

雀の子隠れては跳び山の家

飯野はつ志

紫陽花の花片浮かす水鉢に

馬場 芳

コロナ禍の祈願太鼓や送り梅雨

暫し足止み心温もる

早朝の田植機びびく山家かな

小林 一樹

白石 礼子

山崎 才子

山百合の白さ小雨の道すがら

今日も雨我れ先と寄る金魚達

かほちゃ蔓レンガ道まで伸びにけり

谷内 真里

「災害ないよ、ゆっくりお食べ」

梅雨明けの急雨や走る下校の子

渡邊阿里子

梅沢きくえ

大竹 祐也

伸び立ちてにんにく丸く咲きにけり

バス停に草刈る音と匂ひ来る

高橋 ツ子

軒の巢を飛び立ちもどり夏燕

岡部富美子

三時のおやつ新じゃが折鶴添へてあり

土屋 厚子

雨に濡れ蛙の露草青さ増す

初雁 功子

吉田 愛子

卯の花へ厨子開きあり山の寺

山法師

山田 美子

鈴木 啓子

卯の花へ厨子開きあり山の寺

山田 美子



白石短歌会

人権シリーズ

382

『言葉とコミュニケーションの大切さ』

令和2年度より社会教育委員となりましたが、昨年より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が自粛され、会議および研修会なども中止となり、役職について十分に理解していません。

人権という言葉を知り、自分がどのように思っているのか気になったので、コミュニケーション「やまなみ」にある人権擁護委員の冊子を読み、参考にしてみました。

「人間が人間として生まれながらに持っている権利が、制限されない基本的人権となっている。」それを実践するとき、以前、旧東小学校のPTAで同和問題などの研修会に参加したとき、印象に残った言葉に「言霊」がありました。

「言霊」とは、日本において言葉に宿ると信じられた霊的な力のことで、「言魂」とも書きます。

人間の言葉により意志、思想、感情などを表現するもの、その言葉の発し方ひとつで相手を傷つけ、不快な気分をさせてしまうことが多大であったと思います。

大阪府の高校野球部の部訓に「一球同心」という言葉を共有する人材育成のための教えが、大学野球雑誌にありました。

「一球同心」とは、自分で考えてどれだけ行動できるかを頭に置いて練習し、監督から「試合は常に勉強の場」と教えられ、その気持ちをその後の大学野球で実践しています。その結果が、現在では高校時代で控えだったのが、全国の大学野球部で5人が主将を務め、副将も4人と成長した姿を見せています。

私も現在、生涯野球チームの一員で仲間と楽しく練習および試合を通じて、その教えを教訓に活動に活かしています。スポーツ協会の組織の中でコミュニケーションの大切さ、言葉の重要性を認識して、今後の活動に活かしていきたいです。

東秩父村スポーツ協会会長 神谷 光八